

北方領土遺産発掘・継承事業に係る平成28年度調査等実施状況

No.	実施年月日	実施内容	実施場所
1	H28. 4. 5 (火)	元島民 得能宏氏 (色丹島) への取材 ※モノがたり展について説明し、懐中時計の出品について承諾を頂いた。	根室市
2	H28. 4. 5 (火)	元島民 中田勇氏 (色丹島) への取材 ※モノがたり展について説明し、アザラシの皮で作ったトランクの出品について承諾を頂いた。	根室市
3	H28. 4. 6 (水)	元島民 池田英造氏 (国後島) への取材 ※モノがたり展について説明し、のこぎり等の出品について承諾を頂いた。	根室市
4	H28. 4.24 (日)	北方領土遺産ツアー ※開催結果については資料2のとおり。	別海町
5	H28. 4. 27 (水)	元島民 福澤英雄氏 (多楽島) への取材 ※モノがたり展について説明し、蓄音機等の出品について承諾を頂いた。	根室市
6	H28. 5.15 (日)	元島民 油本繁氏 (水晶島) への取材 ※自由訪問での来根 (千葉県) を機に、油本氏の体験について取材した。	根室市
7	H28. 5. 28 (土)	択捉島・紗那郵便局跡地から見つかった半鐘について、ビザなし訪問時に現地確認	択捉島
8	H28. 6. 2 (木)	落石無線局 木村雅夫氏への取材 ※ NTT の OB である木村氏の保管する落石無線局関連資料等について取材した。	根室市
9	H28. 6. 6 (月)	元島民 山田勇氏 (択捉島) への取材 ※自由訪問での来根 (札幌市) を機に、丹根萌の海底ケーブル陸揚げ庫について取材を行った。	根室市
10	H28. 6. 7 (火)	元島民 佐藤信子氏 (国後島) への取材 ※モノがたり展について説明し、漆器の出品について承諾を頂いた。	根室市
11	H28. 6. 8 (水)	登記簿の管理等について法務局根室支局への調査 ※国後島から浜氏が持ち出した登記簿について登記簿の保管状況等を取材した。	根室市
12	H28. 6. 9 (木)	元島民 山下文子氏 (国後島) への取材 ※リンドバーグ夫妻の直筆サインについて取材した。	根室市
13	H28. 6.10 (金)	元島民 伊藤光作氏 (択捉島) への取材 ※伊藤氏の体験について取材した。	根室市

北方領土遺産発掘・継承事業

「野付通行屋跡遺跡を訪ねる北方領土遺産ツアー」の実施について

1 目的

根室管内住民等が北方領土関連遺産である「野付通行屋跡遺跡」に触れることで、北方領土問題に対する興味や関心を高めるとともに一層の理解促進を図るため、根室振興局と別海町郷土資料館との共催で実施した。

2 実施日時

平成28年4月24日（日） 9時30分～13時00分

3 場所

野付半島、野付半島ネイチャーセンター

4 参加者数

46名

5 内容

野付半島ネイチャーセンターで別海町郷土資料館主幹の石渡一人氏から参加者に対し、野付通行屋跡遺跡に関するレクチャーを行った後、遺跡付近まで車に分乗して移動し、遺跡まで徒歩で海岸を約2.5キロ移動した。遺跡到着後、野付通行屋建物跡、墓石、畑の畝などを石渡氏の説明を受けながら見学した。野付通行屋跡遺跡付近で、参加者の数名が陶器などの遺物を発見し、参加者達は興味深げに見入っていた。遺跡を見学後、希望者は野付通行屋の対岸にあったニシン漁の番屋跡を歩きながら出発地点まで戻り、ツアーを終了した。

6 当日の様子



レクチャーの様子



遺跡までの移動の様子



遺跡での説明の様子



出土した陶器など

北方領土遺産発掘・継承事業

「忘れてはいけない、モノがたり展」の開催について

1 目的

元島民が北方四島を追われた際に肌身離さず持ち出した思い出の品を公開展示することで、北方領土問題に対する興味や関心を高めるとともに一層の理解促進を図るため実施するもの。

2 実施日時（予定）

平成28年8月25日（木）～8月31日（水） 9時00分～17時00分

3 場所

根室振興局1階ロビー、1階中会議室

4 内容

元島民の方が北方四島を追われた際に持ち出した思い出の品に、その品にまつわる逸話等を添えて展示する。

5 思い出の品の収集

千島連盟や報道機関等を通じ、別紙チラシを配布し情報・思い出の品を収集している。

6 展示する思い出の品（一部）

	<p>得能宏氏（色丹島出身） 軍人の父が長刀と一緒に腰に付けていた懐中時計</p>
	<p>池田英造氏（国後島出身） 根室に着いたら自力で家を建てようと持ってきたノコギリ、斧、マサカリ</p>
	<p>佐藤信子氏（国後島出身） 真岡の収容所でも肌身離さず持っていた漆塗りのおわん</p>

東狐貢氏（多楽島出身）
祖父がコンブ漁で愛用した仕事着（どんぎ）

福澤英雄氏（多楽島出身）
宴会などで民謡を流していた蓄音機

忘れてはいけない、モノがたり展

拝借させて頂いた。思い出の品々を、ぜひ

コギリや斧・・・
建てようと思ったきたノ
室に着いたら自力で家を
忍ばせたお不動さん、根
時に航海のお守りとして
アザラシの皮で作ったト
祖父が愛用した仕事着や

す。年八月下旬に開催しま
示する「忘れてはいけな
身の品々をお借りして展
身離さず持ち出した思い
の島を追われた際に、肌
承事業の一環として、元
興局では、

根室振
興局では、



祖父が着ていた
仕事着（どんざ）
＝東狐貢さん



アザラシの皮で
作ったトランク
＝中田勇さん



父親が愛用したロンジンの
懐中時計＝得能宏さん

思い出の品々を、ぜひ
持ち出して
思
い
出
の
品
々
を
持
ち
出
し
て
展
示
す
る
「
忘
れ
て
は
い
け
な
い
、
モ
ノ
が
た
り
展
」
を
、
本
年
八
月
下
旬
に
開
催
し
ま
す
。



上 ノコギリ、斧、マサカリ
左 マッコウクジラの歯に彫り込んだ不動明王
＝池田英造さん



連絡先
お問合せ

根室振興局北方領土対策課
電話 0153 (23) 6827



今後の取組について

○ 国後島に不時着したリンドバーグ夫妻と旧落石無線電信局に関する展示会
(10月以降予定)

忘れてはいけない物語のひとつであるリンドバーグ夫妻の択捉島や国後島への来島から 85 周年を迎えることから、夫妻の来島の事実や来島に大きな役割を果たした旧落石無線電信局について広く知っていただくため、当時の写真や報道記事などの資料に加え、夫妻の直筆サインなど、これまでの北方領土遺産発掘・継承事業の調査で発見した資料の展示会を実施する。

【リンドバーグ夫妻の来島】

1931 年(昭和 6)、北太平洋航路調査のためニューヨークを発ち、アラスカから千島列島沿いに南下し、根室を目指していたリンドバーグ夫妻の愛機シリウスが、濃霧のため、8 月 22 日に択捉島紗那沼、23 日に国後島の東沸湖に不時着。東沸では、近くにあった草小屋で島民の歓待を受け、翌朝には、差し入れのビールを持って駆けつけた島民達と、乾杯して出発。24 日朝根室港に着水した。

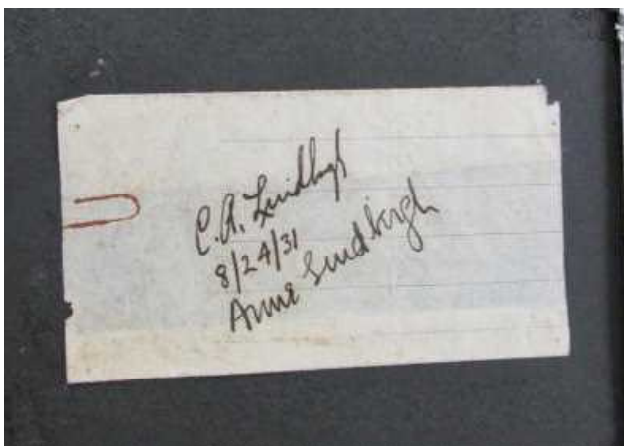
今回、遺産発掘・継承事業の元島民への調査の中で、24 日朝の東沸出発時に夫妻が残したと考えられる直筆サインを確認。サインには「C.A.Lindbergh」と「Anne Lindbergh」、「8/24/31」(1931.8.24)の記述が鮮明に残されている。

【旧落石無線電信局】

1908 年(明治 41)設置。ソ連軍が択捉島・留別に上陸した 1945 年(昭和 20)8 月 28 日、紗那郵便局から発せられたソ連侵攻の第一報を受信。

1931 年(昭和 6)、リンドバーグ夫妻が国後島東沸湖から根室に飛来した際には、無線誘導し、無事に着水させた。

今回、遺産発掘・継承事業の調査の中で、落石無線局で使用されていた機器や無線局の平面図などを発見することができた。



リンドバーグ夫妻直筆のサイン



落石無線局の看板

○ 第2回北方領土遺産調査検討懇談会（12月以降予定）

議題

- ・事業の実施報告について（モノがたり展、リンドバーグ夫妻・落石無線局展）
- ・北方領土遺産発掘・継承事業報告会について
- ・その他

○ 平成28年度 北方領土遺産発掘・継承事業報告会（2月予定）

内容

- ・平成28年度の北方領土遺産発掘・継承事業での取組の報告
- ・北方領土遺産に関する講演
- ・その他

平成28年度第1回北方領土遺産調査検討懇談会 名簿

所 属	役職等	氏 名	備 考
公益社団法人北方領土復帰期成同盟	会長	ほり たつや 堀 達也	
公益社団法人千島歯舞諸島居住者連盟	理事長	わき きみお 脇 紀美夫	
旧逓信省千島回線陸揚げ庫保存会		くぼ ひろあき 久保 浩昭	元島民2世・国後島
特定非営利活動法人 北の海の動物センター		ほんま ひろあき 本間 浩昭	学識経験者
根室市教育委員会 歴史と自然の資料館	学芸主査	いのけ しげと 猪熊 樹人	
別海町教育委員会 別海町郷土資料館	主幹	いしわた かずひと 石渡 一人	
中標津町教育委員会 生涯学習課	学芸員	むらた かずき 村田 一貴	
標津町教育委員会 管理課文化財保護担当係	学芸員	おの てつや 小野 哲也	
羅臼町教育委員会 羅臼町郷土資料館	学芸員	あまがた ひろあき 天方 博章	
北海道博物館 総務部	学芸主幹	うしろ ひろし 右代 啓視	

(敬称略 計10名)

根室振興局	副局長	たにうち のりお 谷内 紀夫	
根室振興局地域創生部北方領土対策課	主幹	さぬき まさつぐ 讃岐 雅嗣	
	係長	ないじょう たかし 内城 孝司	
	主事	たまり かずや 玉理 和也	
	主事	かとう たいじ 加藤 大路	